

特殊詐欺の発生状況（平成30年1月末） ～コンビニで電子マネーを購入させる架空請求詐欺が多発～

1 平成30年1月中の認知状況

- 被害認知件数は **4件**（前年同月比－3件）
- 被害額は **約1,090万円**（前年同月比－約3,740万円）
- 手口は、
 - ◎ 振り込め詐欺 3件
 - ・ 架空請求詐欺（有料サイト利用料金名目）3件
 - ◎ 振り込め詐欺以外の特殊詐欺 1件
 - ・ ギャンブル必勝情報提供名目 1件

2 県内の特殊詐欺の傾向（1月中）

○ コンビニで電子マネーを購入させる架空請求詐欺が多発

昨年から増加傾向にある電子マネーを購入させ、カード番号を聞き出して電子マネーの利用権利をだまし取る架空請求詐欺が、本年も猛威をふるっています。

「訴訟最終告知のお知らせ」と記載されたハガキや、大手通販会社名で送信される「有料サイトの未納料金がある、すぐに連絡を」との内容のメール（SMS）は、必ず詐欺を疑い、お金を支払う前に家族や警察に相談してください。

○ ギャンブル必勝情報提供名目の高額被害が発生

ロト6の当選番号情報料として合計1,070万円をだまし取られる被害が発生しました。この被害は、架空の情報提供会社社員を名乗る犯人から、「ロト6の2等の当選番号を教える」と電話があり、これを信じた被害者が複数回にわたり現金を振り込んだものです。

ロト6等の宝くじの当選番号は、新聞掲載の前日でもインターネットで公開されているので、犯人は、公開された当選番号を教えているのです。**当選番号が事前に分かることは絶対にありません。**

「電話」や「メール」で「お金の話」が出たら「詐欺」を疑い、すぐに家族や警察に相談してください。

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	平成30年1月末		
	男性	女性	計
～ 19	－	－	－
20 ～ 29	－	－	－
30 ～ 39	－	－	－
40 ～ 49	－	－	－
50 ～ 59	－	2	2
60 ～ 64	－	1	1
65 ～ 69	－	－	－
70 ～ 79	－	1	1
80 ～ 89	－	－	－
90 ～	－	－	－
合計	－	4	4
内65歳以上の高齢者	－	1	1

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	平成30年1月末 件数
振込型 （犯人が指定する口座に振り込ませる）	1
現金手交型 （犯人が直接現金を受け取る）	－
現金送付型 （郵便や宅配便などで現金を送らせる）	－
電子マネー型	3
キャッシュカード受取型	－
収納代行利用型（コンビニ決済）	－
合計	4